

経済政策研究会議事録

日時：2024年5月13日（月）14時～16時

場所：永田町海運クラブ308号室

出席者：長瀬、牛嶋、樫、川上、光多

議事次第

1. 前回の光多の戦後の経済政策の推移に関連して、長瀬氏より別添資料により、さらに詳細な歴代内閣に経済政策の具体的動きについて講話があった。これを受けて、研究会として様々な議論を行った。
2. 議事概要
 - 戦後の内閣毎に経済政策とその背景等について議論を行った
 - (1) 戦後復興期—戦後吉田総理はなぜ復興計画を拒んだか
 - ① 吉田総理と戦後復興計画
 - ② 5ヶ年計画への反対
 - (2) 55年体制
 - ① 戦後復興の終わり
 - ② 自民党綱領に経済の総合計画を策定実施と明記
 - ③ 経済企画庁の発足
 - (3) 高度経済成長前期
 - ① 岸：戦犯からの復活
 - ② 国民皆保険・国民年金を実現
 - ③ 池田勇人：経済原理を重視
 - ④ 福田、池田、岸の所得倍増計画
 - ⑤ 下村治の高度経済成長プラン作業
 - ⑥ 1964年からの中期経済計画
 - (4) 高度経済成長後期
 - ① 佐藤栄作と角福戦争
 - ② 田中角栄の総理就任
 - ③ 日本列島改造論対平和大国論
 - ④ 公害問題をめぐるせめぎ合い
 - (5) 安定成長期
 - ① 三角大福の時代
 - ② 1976年の前期経済計画
 - ③ 公共投資の復活

- ④ 1979年からの経済社会7ヶ年計画
- ⑤ 1983年からの経済社会の展望と指針
- ⑥ 鈴木総理から中曽根総理へ
- ⑦ 竹下内閣

(6) 低成長期

- ① 宮澤内閣の生活大国計画
- ② 1992年からの生活大国5か年計画
- ③ バブル崩壊の認識
- ④ 経済計画の終焉
- ⑤ 省庁再編成

(7) 計画の成果

- ① 政策の諸タイプ
- ② 展望型—政策型
- ③ 政策決定の間に何をやるか